

コミュニティバス運行形態見直し にかかる事業について

目次

1. 市内公共交通の現状と課題
2. あいあいバスの現状
3. 課題解決のために
4. デマンド交通イメージ
5. デマンド交通実証実験エリア（案） ・ 新設バス停について
6. デマンド交通実証実験概要（案）
7. 市街地循環バス実証実験について
8. 今後のスケジュール

① 市内公共交通の現状と課題

令和4年6月 小浜市地域公共交通計画 策定（予定）

市内の公共交通の現状や課題を整理し、小浜市の公共交通の目指す方針と取り組み事業を示す

課題

- ①地域の实情に応じた公共交通手段・形態の検討とネットワークの確保・維持
- ②利用しやすい公共交通サービスの提供
- ③分かりやすい公共交通情報の発信、使いやすさの向上
- ④市民全体で公共交通を考える機運の醸成、外出スタイルの変容
- ⑤まちの賑わい創出に貢献する地域公共交通サービスの提供

目指す姿

まちを育み、暮らしを支える公共交通

利用しやすい公共交通サービスをつくり、子どもや高齢者など移動手段を持たない人も、すべての人がまちとつながり、安心と賑わいを生み出すまちづくりをめざします。

基本方針

基本方針1

みんなで支え育む公共交通ネットワークの実現

基本方針2

日々のお出かけを支える公共交通サービスの提供

基本方針3

わかりやすく・使いやすい公共交通環境の提供

基本方針4

まちの賑わいを生み出す移動サービスの創出

取り組み施策

1. コミュニティバスの運行形態見直し

2. 公共交通と送迎バス等の連携
3. モビリティマネジメントの展開
4. 居住地を細かく回る新たな移動サービスの導入検討
5. 公共交通機関利用促進事業の実施
6. 高齢者免許自主返納者への支援

7. 市街地循環バスの導入検討

8. パーク＆ライド等で公共交通利用の促進
9. 乗り継ぎしやすいダイヤの設定と周知
10. 利用しやすい待合環境の充実
11. わかりやすい公共交通情報の発信
12. 施設と連携した公共交通案内の充実
13. 使いやすい料金プランの検討
14. 安心、安全に利用できる乗り場等の環境・サービスの提供
15. 観光資源を活かした周遊バス、観光タクシー等の運行
16. JR小浜線 観光列車・イベント列車等の運行
17. 施設と連携した魅力的なイベント等の開催
18. キャッシュレス化の推進
19. 多様なニーズ、嗜好への対応、MaaSや自動運転など新技術の調査・研究

- ・ コミュニティバスの運行形態見直し
- ・ 市街地循環バスの導入検討

を事業に位置付け

② あいあいバスの現状

①利用者数は年々減少

| H15年度 | H20年度 | H30年度 | R1年度 | 16年間で65,000人減少 (42%減少) |
|----------|----------|---------|---------|---------------------------|
| 144,000人 | 126,000人 | 82,500人 | 83,500人 | |

②運行経費は16年間横ばい

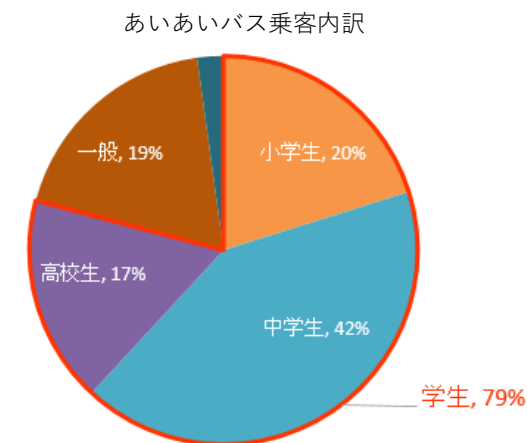
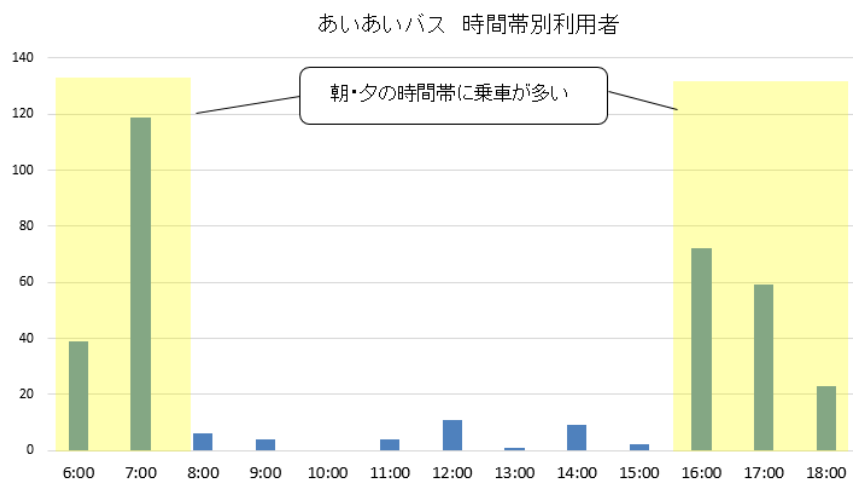
| H15年度 | H20年度 | H30年度 | R1年度 | 16年間横ばい |
|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 110,520千円 | 102,805千円 | 106,421千円 | 112,178千円 | |

③年間運賃収入の減少

| H15年度 | H20年度 | H30年度 | R1年度 | 16年間で7,053千円減少 (38%減少) |
|----------|----------|----------|----------|---------------------------|
| 18,565千円 | 14,981千円 | 10,915千円 | 11,512千円 | |

④主な利用者は学生。乗車は朝夕の通学時間帯に集中し、日中の利用は僅か。

⑤一般利用が少なく、一般利用者にとっては、バス停が遠い、時刻が合わないなど利用しづらい。



令和3年度毎日運行路線乗降調査結果より

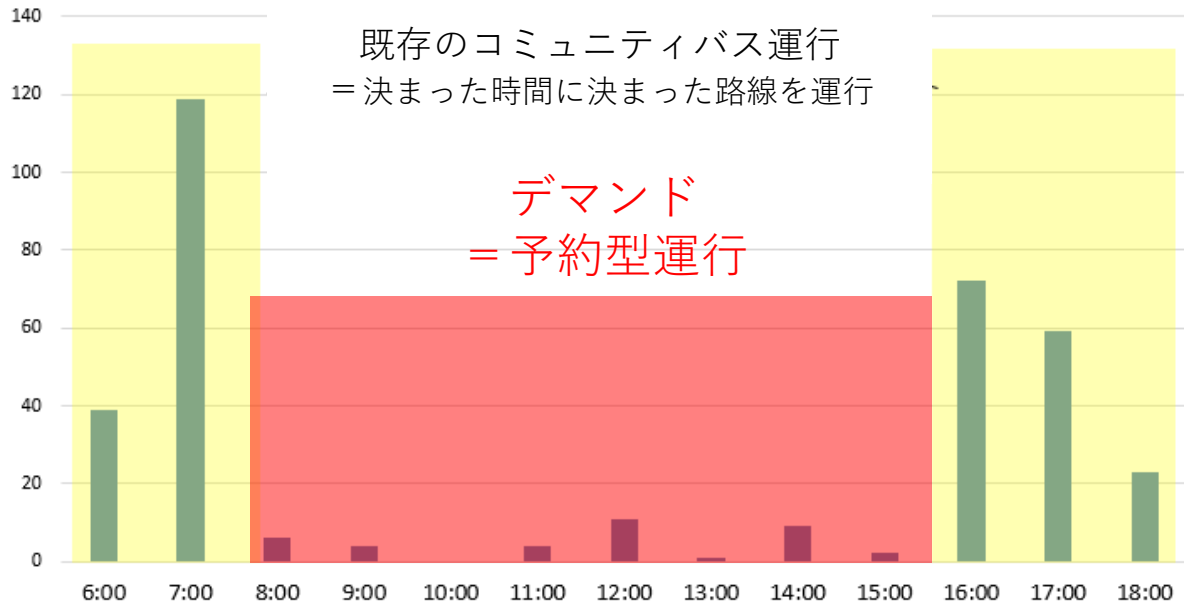
③ 課題解決のために デマンド交通の実証実験

【課題】

あいあいバスの収支改善をし、利用者の利便性を向上させる。

【解決（案）】

朝夕は既存のコミュニティバス運行を継続し、日中に小型乗用車によるデマンド交通の実証実験を行う



デマンド（予約型運行）実証実験を行い、利便性の向上、収支改善を検証。
市内全域でのデマンド交通の導入可否の有効性を検証。

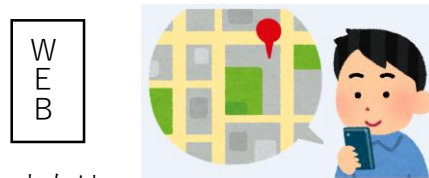
④ コミュニティバスの運行形態見直し デマンド交通イメージ

1. デマンド交通とは

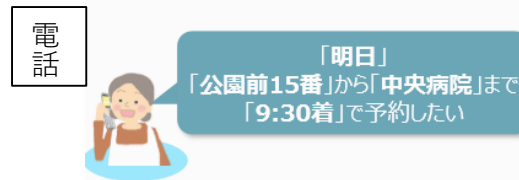
予約の内容に応じて、時間や運行ルートが決まるバス。
予約状況によっては乗合が発生。

2. 運行イメージ

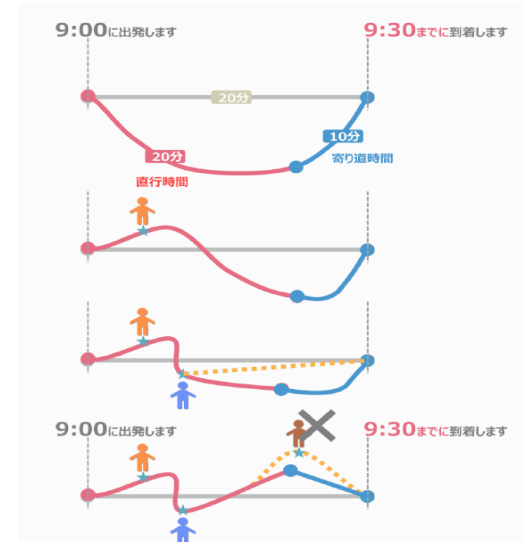
予約の方法



または



運行イメージ



3. 他の交通手段との違い

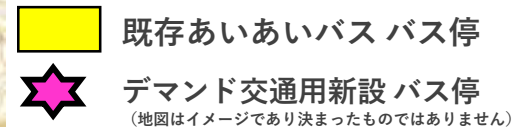
| 路線バス・コミュニティバス | タクシー | デマンド交通 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">路線、乗降場所、ダイヤが決まっているため、ダイヤに合わせて停留所まで行く必要がある1回の運行で複数人（多人数）が乗車するため、利用者の負担が「少ない」 | <ul style="list-style-type: none">利用者の要望に合わせてドア to ドアで行きたいところへ移動ができる。1回の送迎で、1台のタクシーで運行するため、利用者の負担が「大きい」 | <ul style="list-style-type: none">停留所までの移動が必要だが、要望に合わせた停留所で、要望に近い時間・人数で乗降ができる。1回の運行で複数人（少人数）で乗車するため、利用者の負担が「比較的少ない」。 |

⑤実証実験運行エリア（案）・新規バス停設置

- あいあいバス泊線・田鳥線・宇久西小川線沿線で実証実験



- 集落内に新規バス停設置



車両の小型化により、細かいバス停設置が可能
→利用者の利便性向上を目指す

⑥ デマンド交通実証実験概要（案）

運行期間

- 令和4年10月～12月下旬の約3か月間

運行時間

- 平日 午前9時から午後3時（予定）

料金

- 無料

運行エリア

- あいあいバス田烏線、泊線、宇久・西小川線沿線（小浜市小浜地区、雲浜地区、西津地区、内外海地区）

運行方法／予約方法

- 予約があった停留所と停留所間を運行（乗合方式）／WEB予約 または 電話予約

対象者

- 運行エリアに住所を有する者（利用には事前登録が必要）

停留所

- 既存のあいあいバスのバス停 + 新規で設置する居住地内の停留所や主要施設

運行車両

- 市が委託するタクシー車両（4人乗車） 午前中は車両2台、午後は車両1台を予定

⑦ 市街地循環バスの実証実験について

目的

- 中心市街地における公共交通の利便性の向上を図るため、実証運行から移動需要の把握し、あいあいバスを含めた公共交通サービスの運行形態見直しを行う。

現状

- 小浜市街地に立地する駅、店舗、病院等の主要施設を回る公共交通がなく、日々のお出かけを支える交通サービスが必要

- あいあいバスの改善希望（R3年度市民アンケート結果より）

どのように改善すればバスを利用するか（上位5項目 ※複数回答）

- 1：小浜中心エリアで駅・人気店・病院等をぐるぐる回り、気軽に乗り降りできる「循環バス」を走らせる（33.9%）
- 2：人気店、病院等の建物の近くに発着する（28.1%）
- 3：バス等に関心がない（25.7%）
- 4：1日に何回も乗りやすい料金の仕組み（20.8%）
- 5：電車の乗り継ぎに合わせ、便を調整する（19.6%）

実証実験概要（案）

- 運行期間 令和4年秋 の1か月間（予定）
- 料 金 無料
- 運行形態 定時定路線による運行で、事前登録・予約不要
- 運行ルート 小浜駅を中心に、病院・店舗等を回る（詳細は今後決定する）
- 運行車両 市が委託するハイエース車両1台を予定

⑧ 今後のスケジュール (案)

| | | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|-------------|------------|----------------------------|----|------------|----|---------------|-----|-----|----|----|----|---|
| デマンド交通実証実験 | | | | | | 実証実験 | | | | | | |
| | 交通事業者との調整 | 運行方法決定 | | 調整 | | | | | | | | |
| | 停留所 | 停留所協議・確定 | | 停留所表示設置 | | | | | | | | |
| | 運転手・オペレーター | | | トレーニング | | 運行開始 | | | | | | |
| | 周知等 | 区説明会・ふれあいサロン等説明会・周知チラシ・広報誌 | | | | | | | | | | |
| | 配車・運行システム | システム構築・停留場情報入力 | | | | 調整 | | | | | | |
| | 利用者 | | | 利用登録開始 | | | | | | | | |
| | ・実証実験利用 | | | 利用開始 10月予定 | | | | | | | | |
| | 効果検証 | | | | | | | | | | | |
| | 交通会議 | ● | | | ● | | | | | | | ● |
| | | | | | | | | | | | | |
| 市街地循環バス実証実験 | | | | | | 実証実験(秋 1か月予定) | | | | | | |
| | 交通事業者との調整 | 運行方法決定 | | 調整 | | | | | | | | |
| | 停留所 | 停留所協議・確定 | | 停留所表示設置 | | | | | | | | |
| | 運転手 | | | トレーニング | | 運行開始 | | | | | | |
| | 周知等 | 説明会・周知チラシ・広報誌 | | | | | | | | | | |
| | 利用者 | | | 秋(1か月予定) | | | | | | | | |
| | ・実証実験利用 | | | | | | | | | | | |
| | 効果検証 | | | | | | | | | | | |
| | 交通会議 | ● | | | ● | | | | | | | ● |